

大会名 Competition	第29回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-115	Year Month Day Time 2016 年 5 月 5 日 15 : 45
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
明 成	(15 1st 15 22 2nd 12 27 3rd 18 17 4th 17 E P)	能 代 工
81 ○		62 ●

主審:Referee
北沢 岳夫 宮城
副審:Umpire
小川 裕之 秋田
水木 順仁 秋田
テーブル・オフィシャル:Table officials
能代高

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	✓	古川 空音		0	0	0	0	0	4	×	山田 柊人	CAP	9	2	0	3	0
5	✓	塚本 舞生		0	0	0	0	0	5	×	児玉 海渡		13	0	4	5	4
6	×	相原アレクサンダー 学	CAP	2	0	1	0	1	6	✓	長濱 宏治郎		8	0	3	2	1
7	✓	庄司 勇人		20	0	8	4	0	7	✓	熊谷 弥高		16	3	1	5	3
8	×	八村 阿蓮		16	0	5	6	0	8	×	山田 魁都		12	1	2	5	2
9	×	江戸保 礼央		10	0	4	2	1	9		石田 淳		-	-	-	-	0
10	✓	本間 紗斗		8	0	4	0	3	10		阿久津 穂		-	-	-	-	0
11	✓	江戸保 賢人		5	1	1	0	4	11	✓	児玉 凜斗		4	1	0	1	1
12	✓	伊藤 修人		4	0	2	0	0	12	×	佐藤 侃		0	0	0	0	0
13	✓	川村 亮汰		0	0	0	0	0	13		齋藤 創		-	-	-	-	0
14	×	清水 翔太		10	0	4	2	4	14	✓	牧野 湧		0	0	0	0	0
15	×	柳瀬 亮		6	0	3	0	4	15	×	新田 由直		0	0	0	0	5
16	✓	井上 耀		0	0	0	0	0	16		小納 駿介		-	-	-	-	0
17		五十嵐 健人		-	-	-	-	0	17		守屋 壮次郎		-	-	-	-	0
18	✓	田中 裕也		0	0	0	0	3	18		大日向 祐輝		-	-	-	-	0
コーチ		佐藤 久夫						0	コーチ		柴田 直宏						0
Aコーチ		木伏 智久						0	Aコーチ		杉沢 政						0
合 計				81	1	32	14	20	合 計				62	7	10	21	16

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

最終試合は、前年度ウインターカップ優勝の明成と、第3位の能代工の対戦。

1Q、両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスでスタートする。立ち上がり、明成#15柳瀬のジャンプシュートや#8八村のフリースローで明成が4点をリードする。対する能代工は積極的にドライブを仕掛け、チームファウルからフリースローを得て得点する。その後も、能代工#4山田の3Pシュートやリバウンドから#6長濱の速攻、#7熊谷のドライブで得点を重ねる。明成も#7庄司のドライブや#10本間のゴール下で入れ返し、15-15の同点で1Qを終了。

2Q、立ち上がりは両チーム速い展開に持ち込むものの、シュートを決めきれない時間帯が続く。明成#10本間のリバウンドからのゴール下や#7庄司の速攻で連続得点を許したところで能代工1回目のタイムアウト。タイムアウト後に能代工#11児玉と#8山田の連続3Pシュートで点差を詰める。明成がオフェンスリバウンドからシュートチャンスを増やし再び明成に流れが傾きかけたところで能代工2回目のタイムアウト。能代工が速いパス回しからのドライブでファウルをもらいフリースローで加点するのに対し、明成は3-2マッチアップゾーンを崩してゴール下や速攻で得点を重ねる。終盤、明成がフリースローや速攻で徐々に点差を離していき37-27の明成10点リードで2Qを終了。

3Q、互いに厳しいマンツーマンディフェンスでスタート。外角シュートのフリーを作らないようマッチアップするが、明成#14清水のドライブや#6相原の速攻で徐々に点差を引き離す。能代工は#5児玉のゴール下や#7熊谷の連続3Pシュートで入れ返すも、明成のドライブからの攻撃を止めることができずに流れをつかむことができない。64-45の明成19点リードで3Qを終了。

4Q、明成はドライブや飛び込みリバウンドからファウルをもらいフリースローで得点する。能代工はタイムアウトからフルコートのゾーンプレスにディフェンスを変える。明成はオフェンスリバウンドからゴール下の得点を重ねる。終盤、能代工も#6長濱のゴール下や#4山田の3Pシュートで巻き返しを図る。残り3分で能代工に流れが傾きかけたところで明成が1回目のタイムアウトを取る。その後も、能代工が相手のファウルからのフリースローで点差を縮めるが、81-62の19点差で明成が勝利した。